

ブタ由来インフルエンザウイルス(新型インフルエンザウイルス)の今後

● 昨シーズン(2009/2010シーズン)はブタ由来の新型インフルエンザウイルスが世界中で流行しました。出現当初は新型インフルエンザウイルスと思われていましたが、現在はインフルエンザA(H1N1)2009pdmウイルス(pdm:パンデミック)と呼ばれています。なぜ新型インフルエンザウイルスと呼ばれなくなったのでしょうか?

● 現在ウイルス学は飛躍的に進歩しています。A型インフルエンザウイルスは、人だけではなくすべての鳥類や哺乳類に感染することがわかりました。更にトリやブタと一緒に生活していると、トリのインフルエンザウイルスとブタのインフルエンザウイルスが混ざり合った新しいタイプのインフルエンザウイルスが出現することもわかりました。

● 現在、人や動物からインフルエンザウイルスが分離されると、そのウイルスがどの動物由来かもわかるようになりました。感染に関係しているインフルエンザウイルスの大事なタンパクであるヘマアグルチニン(HA)を調べていきますと、2009年に出現した新型インフルエンザウイルスのHAは、1918年に人の間で流行したスペイン風邪のインフルエンザウイルスのHAとよく似ており、1930年頃に人からブタのインフルエンザウイルスに混ざり込んだこともわかりました。

● そうです。2009年に流行った新型インフルエンザウイルスと2008年前まで流行っていたAソ連型ウイルスは同じ起源のウイルスだったのです。しかし、Aソ連型ウイルスは人の間で感染を続けるうちに、1930年頃と比べるとHAは大きく変異をしました。ブタ由来インフ



ルエンザウイルスの方は、1930年頃のHAを持ったままブタの間で感染し、一昨年再び人の間に出現したのです。

2009年に流行したインフルエンザウイルスは、一部ブタインフルエンザウイルスの性格を残したまま人の間に入り込みました。十分人から人に感染する能力を身につけておらず、このため、小中学生では流行しましたが、その他の年齢層ではほとんど流行しませんでした。

● このウイルスが今後人の間で生き残るためには、ブタインフルエンザウイルスの性格からヒトインフルエンザウイルスの性格に十分変異する必要があります。**今までの新型インフルエンザウイルス出現時、流行の第二波の方が流行の第一波よりも致死率が高いことが示されています。**インフルエンザウイルスの人への感染力が高まり、感染すると重たくなりやすい人の間で流行が広がったためと考えられています。

● **2009年に出現したときにかからなかったからと安心しないでください。**このインフルエンザウイルスは、2010年12月から日本で流行しています。2011年1月になって三重県で流行しているA型インフルエンザウイルスは、2009pdmウイルス(通称新型インフルエンザウイルス)です。**インフルエンザウイルスにかからないために、かかっても軽くすむために今年もインフルエンザワクチンを受けて下さい。**今からでも間に合います。

(院長 庵原 俊昭)

医療福祉相談室だより

①確定申告の医療費控除

Q 医療費や介護費用に支払ったお金が多い年は、確定申告すると戻ると聞いたのですが?



A 支払った医療費が戻るのではなく、以下の算式で計算した「**控除できる金額**」を、所得から差し引くことができるというものです。その結果、その方の税率によっては納めた所得税が還付される場合があります。医師等による診療はもちろん、入院時の

食事代や部屋代、松葉杖、義歯購入の費用、6ヶ月以上寝たきりの方のオムツ代、介護保険施設や居宅サービスの費用などが対象になります。予防接種や健康診断は対象外です。詳細は、税務署、もしくは医療福祉相談室へどうぞ。(医療福祉相談室 高村純子)

1年間に支払った額

乳幼児医療等の福祉医療や、生命保険等で補われた金額

10万円または所得金額の5% (どちらか少ない額)

= **控除できる金額**